

1 指導概要

教科		科目		
国語		論理国語	単位数： 4単位	
指導目標：実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				
メディア視聴	あり	60%	教科書	東京書籍「新編論理国語」
スクーリング	1 単位時間×4回	合格時間数4時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用
レポート	全 12 回	合格枚数 12 枚	副教材	なし
試験	あり	試験評価割合 70%	評定	100 点法 5 段階評定
回	高校通信教育講座 (単元・学習内容)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)	
1	対話とは何か 世界をつくり替えるために	第1回 (5/15)	第1回	【対話とは何か】 ※「対話」と「おしゃべり」の違いを理解したうえで、ふだんの生活の中でどんなときに「おしゃべり」をし、どんなときに「対話」をしているかを振り返る。
2	少女たちの「ひろしま」 「ふしぎ」ということ	第2回 (5/30)		
3	学ぶことと人間の知恵 ラップトップを抱えた「石器人」	第3回 (6/15)	第2回	【ラップトップ抱えた「石器人」】 ※「人間の脳の特性」について自分はどう受け止めるか、自分の知識や体験なども関連づけながら、考えをまとめる。
4	思考の肺活量・安心について	第4回 (6/30)		
5	弱肉強食は自然の摂理か 複数の「わたし」	第5回 (7/15)		
6	はじめに「言葉」がある 楽に働くこと、楽しく働くこと	第6回 (7/30)		
7	最初のペンギン 豊かさと生物多様性	第7回 (9/15)	第3回	【最初のペンギン】 ※生きるために、不確実性のもとで決断し、海の中に真っ先に飛び込む「最初のペンギン」の行動の意味を確認する。 ※積極的にタイトルに象徴される筆者の考えを読み取り、今までの学習を生かして自分の経験を振り返り、これからの生き方について考える。
8	物語の外から・カフェの开店準備	第8回 (9/30)		
9	鏡としてのアンドロイド ロボットが隣人になるとき	第9回 (10/15)		

10	言葉は「物の名前」ではない 科学的「発見」とは	第10回 (10/30)		
11	知識における作者性と構造的性 もう一つの知性	第11回 (11/15)	第4回	【未来のありか】 ※未来の事物の予想や予期や想像が 個々の意識の中に生まれ、社会生活の中 で共有されていく過程について読み取 る。 ※「未来」が事前に想像されるものであ ることを、万国博の例をもとに読み取 る。 ※「未来のありか」についての筆者の考 えを、私たちの生き方と関連づけてまと める。
12	ホンモノのおカネの作り方 未来のありか	第12回 (11/30) 提出期限 (11/30) ※提出予備日 (1/30)		

2 評価の観点

知識・技能	生涯にわたる社会生活において必要な国語の知識や技能について理解する。文章から必要な情報を見つける技能を身に付ける。
思考・判断・表現	自分の考えや意見を深め、広げていく。また、立場の違う相手の意見なども理解するように努める。
主体的に学習に取り組む態度	意欲的にレポート作成に取り組みスクーリングに出席し身近な事象を歴史的に探究しようとしている。

3 評価の方法

スクーリングへの出席（取り組む姿勢）、レポートの提出（レポートの内容）、試験結果を総合的に判断し、評価します。

4 担当者からのメッセージ

スクーリングへの出席（取り組む姿勢）、レポートの提出（レポートの内容）、試験結果を総合的に判断し、評価します。面接指導だけで教科書の全範囲を解説することは難しく、説明のスピードも速くなります。教科書を読み、各回の範囲を予習し、レポートをできるだけ完成させた上で面接指導にのぞむことを推奨します。分からないところは教科担任に聞くのもいいでしょう。様々な意見に触れることで、皆さんの世界が広がることを願っております。